



まちづくり計画課都市景観係・TEL内線3215



川越市は、蔵造りの町並みに代表される伝統的建造物や神社仏閣からなる歴史的景観、河川や田園の自然景観など、多様な景観に恵まれた都市です。そこで、積極的に地域特性に合った景観形成を進める必要がある地域を、都市景観条例に基づき都市景観形成地域として指定しています。これまでに「川越駅西口地区」と札の辻交差点（元町二丁目）周辺の「川越十カ町地区」の二か所を指定し、現在、クレアモール周辺部についても指定への検討を進めています。この指定制度は、都市計画とは異なり、罰則のない規制ですが、建築行為の際、市への届け出が必要です。まちづくりの目標や基準案の検討の段階から、行政と地域住民が協働で作業を行うことで、行政からの押しつけではないまちづくりのルールを持つことが可能になります。

「川越十カ町地区」では、住民みずからアンケートを行い、その結果、多くの皆さんから同意を得て地域指定に至りました。指定後も、地域住民が基準の運用状況の確認を行っています。

これからの、自主的なまちづくりを応援する手法の一つとして、この指定制度は、今後も幅広い活用が考えられます。

人権教育シリーズ

児童・生徒の作文⑩

教育指導課指導係・TEL内線2925

平成十六年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけぼの」から、作品を紹介いたします。

体が不自由となつて②

中学三年生

命拾ひした私は体が不自由になつたという不安やいら立ち、毎日の生活の不便さと闘わなければならなくなつた。

私はみんなと普通に勉強したいし、遊びたい。自分で考え、判断して行動したい。ショッピングも楽しみたい。将来への大きな夢も持ちたい。でも現実には困難ばかりだ。学校までの道も狭く、車を避けて道の端によれば伸びた雑草の先端が車椅子に座っている私の頬や目を刺す。車椅子に座っていると視線が低く、普通の人と見える物が違う。そんな時、私はいやな気持ちになる。

学校に着くと、階段が待っている。その日の体調で上れる日とそうでない日がある。また、介護と一緒に上つてくれる母と息が合わないとき、息がつかないとき、一日に何度も教室移動がある時は疲れるし、気持ち落ち込む。バリアフリーという言葉が前から聞かれるようになっていくが、ま

だまだ不十分だと思う。お金がかかるので、すぐにはできないことだと思いが、設備を整えるということは障害のある人もない人もお互い助け合い、補い合い、支え合つて生きようとする姿勢のあらわれだと思ふ。

重い荷物を持つてくれたり、車椅子を運んでくれたりして、私を助けてくれる友達が増えてきたことが私はとてもうれしい。また、直接手助けしてくれなくても明るくあいさつしてくれる友達がいるだけでうれしい。障害のある私を受け入れてくれることで励まされている。

私は死の間際で命の大切さを知つた。自分の命と同じように相手の気持ちや身体を思いやつていくことが、共に豊かに生きていくことだと思ふ。

自分自身の経験を通して、本当に一人ひとりが自分の命と他人の命を大切にする自覚を持つて社会を築いていかなければいけないと思つた。

（二部省略）
*ふりがなは広聴広報課で付けました。

投票率向上のために

選挙管理委員会事務局・TEL内線3713

●明るい選挙推進活動「贈らない・求めない・受け取らない」

「明るい選挙推進活動」は政治活動や選挙運動と違い、不正をなくし、市民の皆さんの意思が政治に正しく反映される、適正な選挙を進めるための活動のことをいいます。その活動の1つとして、贈らない・求めない・受け取らないの「三ない運動」を実施しています。

市内では昭和39年に明るい選挙推進協議会が結成され、活動しています。座談会・選挙時における街頭啓発などを行っていますが、年々会員数が減少し十分な活動ができない状況にあります。この活動の主旨に賛同していただける方（団体）は、ぜひ活動にご参加ください。



明るい選挙のシンボル「白ばら」

みんなの作文

虫とりにいったよ

大東西小学校三年

山内高史

ぼくは、しみんの森にみんなで虫とりに行きました。

じぶんのあみでコクワガタをつかまえました。コクワガタは、森にある木の近くにいました。また、じぶんのあみでカマキリをとりました。カマキリは、うまくとれました。あみが、青色で細長くて、のびたりちぢんだりするからです。

草が、ぼくのズボンぐらいたるところまでのびていたの、草をよけながら歩いて、見つけにくかったです。だけど、友だちといっしょにさがしたので、バツタや、トンボや、カマキリとかをつかまえることができました。しかし、あみをこわしてしまいました



た。

すると…

「このカマキリとバツタ、あげるよ。」

と友だちが言ったので、「ありがとう。」

と言ってもらいました。ぜんぶでバツタが三びきカマキリが一びきトンボが一びきコクワガタが一びきになりました。

トンボとカマキリは弱っていたので、がしてあげました。心の中で虫たちが、「にがしてくれてありがとう。」

と言ったような気がしました。そのとき雨がふってきたので、トンボが水の中におちて、しんでしまいました。かわいそうでした。バツタとコクワガタは、元気があったので、いっしょうけんめい、だいにそだてました。

楽しかったので、また虫とりに行きたいです。

おしゃべり倶楽部 205 植物あらかると

ドウダンツツジ



暖かな春の日を受け、安比奈親水公園を子どもと散歩。すると、子どもが「お花がいっぱい」と駆け出しました。その先の小川沿いには、ドウダンツツジの花が満開です。

もともと、暖かい地方の山地に自生し、木の高さは1m～3mぐらいになります。せんていに強く、庭木や生け垣として多く見られます。

ドウダンは「満天星」とも書きます。白い小さな花が、夜空に瞬く星々のようにも見えてきます。

ドウダンツツジは、春の花だけでなく秋に色づく紅葉もきれい。また、子どもと楽しめそうです。

短歌

四元仰・選

踏むまいとよけてよろける足元に小さきすみれの鮮やかな色
満開の花をついばむ小鳥たちいたく愛らし我が家の庭に
夫逝きてはや五十年過ぎたるか墓石洗いつながながと語る
短日の公園のベンチ冷たかり散歩コースのわが指定席
連翹の咲き満つる花色濃くて夜目にも遠く花明りする

俳句

石川俊一・選

武蔵野の落合ふ河原鳥交る
藤村の訪ねし川辺土筆摘む
真砂女忌や生鮮市場活気充つ
縁側に折鶴一羽の余寒かな
たんぼぼに明るさもらう無人駅

川柳

小川正夫・選

人力車目線で変わる鬼瓦
チューリップ春の賛歌のように咲き
半額の商品買ってゴミ増やす
補聴器を外し聞いている愚痴話
ぬいぐるみ抱いて耐えてる注射針

応募方法（7月掲載分は5月31日(必着)

- 短歌部門＝当季雑詠3首まで、俳句部門＝当季雑詠2句まで、川柳部門＝雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広聴広報課

石井久良(的場)
加藤美津恵(今福)
田中英子(三光町)
寺田千代子(仙波町二丁目)
有田杉江(南台二丁目)